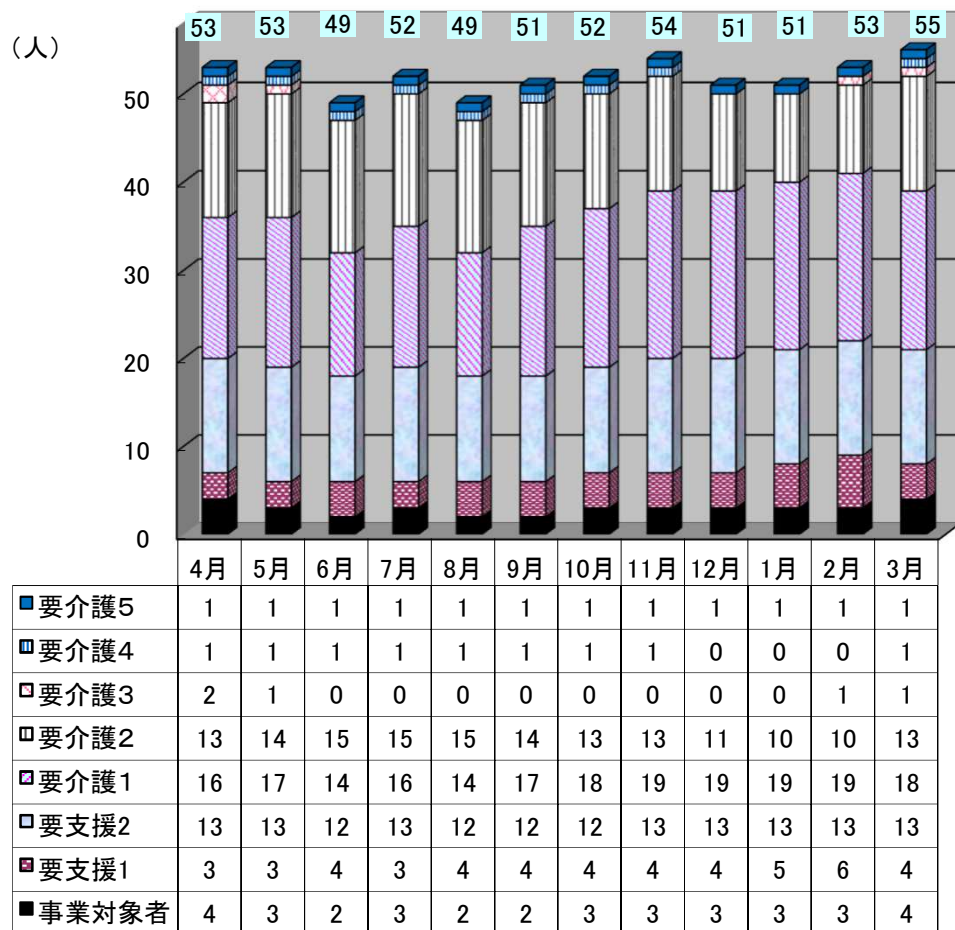


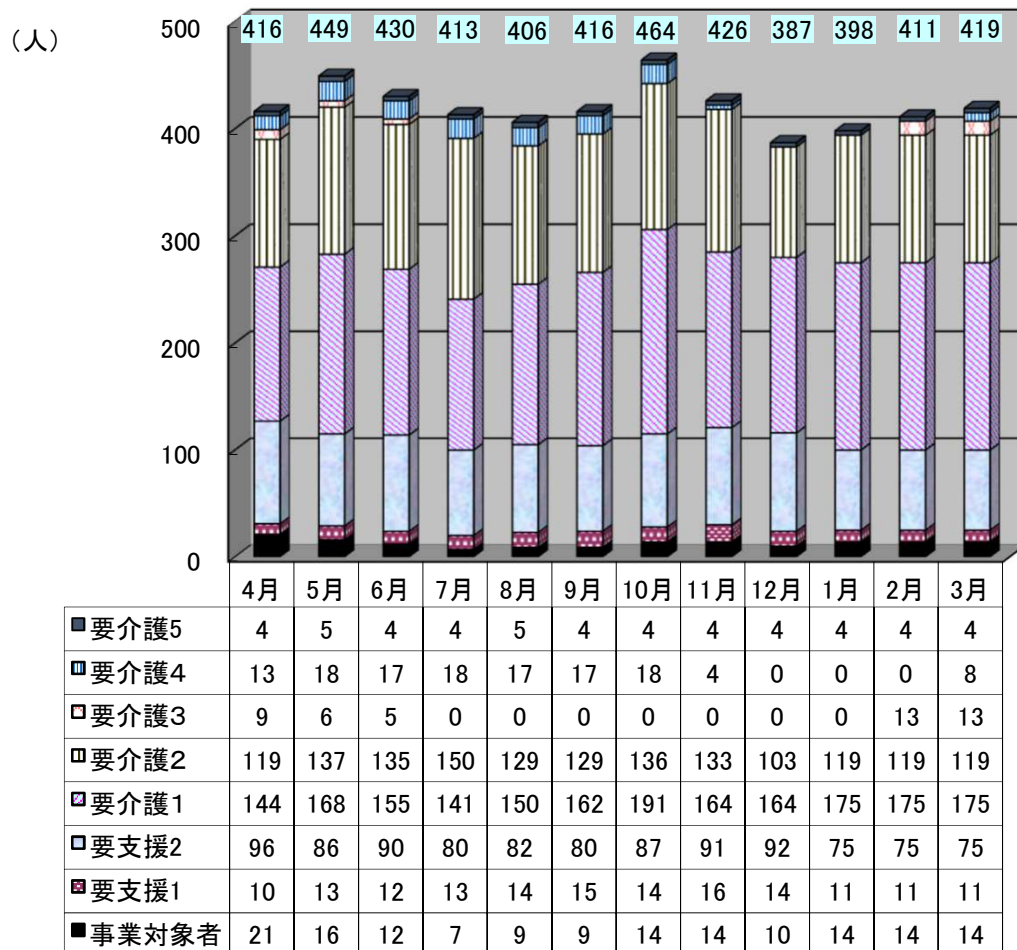
令和 6 年度 事業報告書

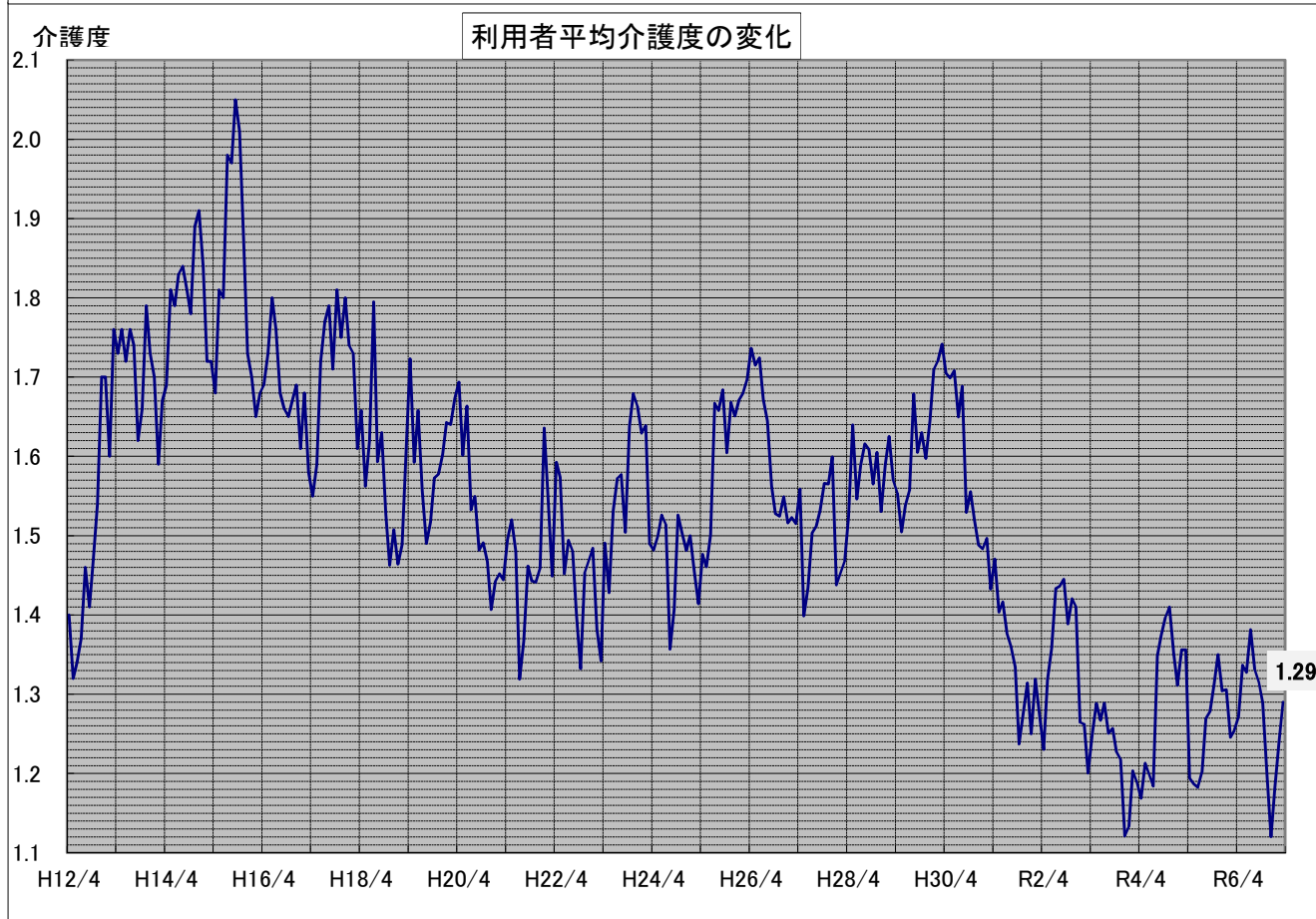
デイサービスセンターたき

介護度別利用者数



介護度別延利用者数





令和6年度 事業報告

(目標達成状況、苦情・要望、地域との連携、ボランティア、情報公表)

●今年度重点目標の達成状況

重点目標	達成状況
① 利用者の思いを尊重しながらやりたい・やってみたいという意欲が引き出せるような声掛けや時間作りに努めるとともに、状態に応じたケアを提供していく。	利用者からの声に耳を傾け、やりたい活動や趣味的な活動を提供することができた。次年度も同様に、利用者の機能を十分に引き出し、統一したケアが提供できるよう心掛けていく。
② 日々の生活の中で、デイの一日が楽しみとなるような行事・活動を提供していくように創意工夫に努める。	毎週変わるアクティビティに利用者の方からは、喜びの声も聞かれていた。季節ごとの行事も喜ばれ、職員もモチベーションの向上に繋がった。次年度も利用者の楽しみを考え提供をしていく。
③ 利用者の心身の変化に気づき、情報共有が充分になせるよう職員間、また家族・他機関との連携を強化していく。	利用時のバイタルチェック、また利用者・家族とのコミュニケーションの機会を多く持ち、利用者の変化にいち早く気づき対応をすることができた。情報共有に関しても十分に行っていた。引き続き連携強化を行い、利用者支援を行っていく。

●苦情解決、要望・相談等

①苦情解決実施要領に基づいて解決した苦情 …なし
②その他の苦情、相談・要望等…なし

●実習・研修・施設見学等の受け入れ

依頼先	受入予定期間	人数	内 容	受入状況
出雲西高等学校	10/16～18 (3日間)	2～3名	施設実習(2年)	新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止

●ボランティア等

依頼先	受入予定期間	人数	内 容	受入状況
奥田儀ボランティア	12/24・25・27 (3日間)	3名	クリスマス会	感染対策を充分にとった上で実施。

●情報公表等

・「介護サービス情報公表システム(厚生労働省HP・県HP)」による介護サービス情報の公表 ・多伎の郷機関誌の発行…2回 ・多伎の郷ホームページによる情報公表
--

●保険者へ報告した事故について…なし

令和6年度 事業報告(行事、研修)

◎ 行事・活動状況

行事・活動名	実施日	実施場所	参加利用者
花見ドライブ	4/4(木)～4/10(水)	大社方面	95名
菖蒲見学・ドライブ	6/6(木)～6/12(水)	大社方面	106名
安来節見学・学童との交流	8/19(月)	うなばら会館	20名
夏祭り	8/19(月)～8/24(土)	デイサービスセンターたき	88名
敬老会	9/16(月)～9/21(土)	デイサービスセンターたき	100名
運動会	10/21(月)～10/26(土)	デイサービスセンターたき	90名
紅葉ドライブ	11/14(木)～11/20(水)	三瓶方面	98名
クリスマス会	12/23(月)～12/28(土)	デイサービスセンターたき	93名
節分会	2/3(月)～2/8(土)	デイサービスセンターたき	93名
ひな祭り	3/3(月)～3/8(土)	デイサービスセンターたき	93名
消防避難訓練	7/22(月)	※社協と合同訓練	
	3/19(水)	参加者:利用者17名、職員5名 ※潮風苑と合同訓練	

※事業計画で掲げていた上記以外の行事(遠足、買い物ツアー、新年会)は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、中止した。クリスマス会では、地域ボランティア(3名)来所し、3日間限定で余興される。

※デイサービス体験者:1名(1月)、見学者2名(12月、5月)

◎ 研修

●法人・事業所内研修

実施月	研修会名	講師等	参加職種	参加人数	日数
6月	高齢者虐待防止に関する研修	主任	全職員	7名	1日
9月	新人職員研修、利用契約・重要事項説明研修	所長	介護職員(生活相談員兼務)	1名	1日

●外部研修

実施月	研修会名	開催者/場所	参加職種及び人数	日数
6月	安全運転管理者等講習会	県安全運転管理者協会/出雲	主任	1日
9月	中国地区老施協研修大会	全国・中国老施協/松江	生活相談員1名	1日
3月	認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台センター(eラーニング)	介護職員1名	1日

令和6年度 事業報告(自己評価)

◎ 通所介護サービス評価基準 サービス評価一覧表 〈 令和7年 2月17日職員会議にて作成 〉

● サービス評価項目(一覧表)【凡例】

評価結果	○:実施できている △:実施できているが不十分 ×:実施できていない				
改善の必要性	a:既に着手している	b:早急(本年度中)	c:来年度以降に改善に着手	d:改善の必要性和実現可能性の検討に着手	e:当面、改善に着手しない

● △又は×の評価項目 ※NO が太字下線付きの項目は基本項目。

NO	評価基準の具体的内容	評価結果	改善の必要性
16	利用時間の延長等の対応ができる体制ですか。	—	e
<u>17</u>	日曜日、その他の休日に対応できる体制ですか。	△	e
20	生きがい対応型デイサービス事業に取り組んでいますか。	—	e
21	身体障害者も対象に含めた相互利用事業に取り組んでいますか。	—	e
59	第三者評価を積極的に受け入れて、必要な業務改善を行っていますか。	×	e

※ 法人・事業所として実施の考えのない項目の評価結果については(×)ではなく、(－)で記載。

	評価結果				改善の必要性				
	○	△	×	—	a	b	c	d	e
令和4年度	85	2	1	3	0	0	0	0	6
令和5年度	86	1	1	3	0	0	0	0	5
令和6年度	86	1	1	3	0	0	0	0	5

※評価結果‘△’+‘×’+‘—’=改善の必要性項目の総数